



いよいよ今年も残すところあと一か月になりました。朝晩の冷え込みも厳しく、空気も乾燥し風邪などひきやすくなる季節です。子どもたちにとってはクリスマスやお正月と楽しいことがいっぱい時期ですが、規則正しい生活を心がけ寒い冬を元気に過ごせるようにしましょう。

看護師 萩原 あずさ

咳・鼻水症状がある場合の登園について

風邪が流行する季節。熱はないけれども咳や鼻水が出ている場合、病院は受診するか、園はお休みするか、迷われる方が多いと思います。

風邪は引き始めが大事、とも言われます。かからないようにするのが一番ですが、もしかかってしまったら、早めに受診し、ひどくなったり、長引いたりしないように気を付けましょう。

園では集団生活のため、発熱がなくても、症状がある場合は、きょうだいも一緒に家庭保育にご協力をお願いします。

登園されて、症状がある場合には次のように対応しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 登園時にお子さんの体調を詳しくお伺いします。受診状況（診断結果、内服の有無）や症状を健康連絡カード（たんぽぽ組は連絡帳）に記入してお知らせください。
- 受診されていない場合は、早めの受診をお勧めします。
- 病児・病後児保育とは異なり、症状があるお子さんもクラスでお預かりし、通常保育を行います。
- お子さんの観察を続け、発熱がなくても集団生活が難しい場合は職場にご連絡しますので、お迎えをお願いします。お仕事がお休みの時は、登園時に必ずお知らせください。
- すべてのお子さんが集団生活を快適に過ごせるよう、感染対策を行いながら保育します。ご家庭でも咳エチケットや手洗い、鼻のかみ方等の指導をお願いします。

風邪であれば、ほとんどの場合は安静に過ごすことで自然に治ります。しかし、集団生活をしているお子さんは、免疫力が下がった状態で登園すると他の感染症にかかりやすく、症状が長引く原因にもなります。また感染対策を行っていても、感染を完全に防ぐことは難しいため、集団生活に適應できる状態に回復するまでは、家庭保育をお勧めします。

また、小さいお子さんは気管支炎や肺炎、中耳炎などの病気を合併しやすいため、ご家庭でお子さんの様子をよく観察し、体調の変化が見られたらすぐに受診するようにしましょう。

身体測定日

0～3歳児 12/19(月)

4～5歳児 12/20(火)

当日は着脱しやすい服装で髪を結んでいる場合は頭の上には結ばないようにお願いします。



インフルエンザの予防接種はお済みですか？

インフルエンザは、例年1月末から3月上旬に流行のピークを迎えます。また、インフルエンザワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後2週間から5か月間程度であることから、12月中旬までに接種を終えることが望ましいとされています。まだ接種されていない方は早めに接種しましょう。また、年長児は、麻しん風しん混合（第2期）も忘れずに接種しましょう。

受診結果報告書の提出について

10月に行った視力検査・内科検診の結果、受診が必要となった方は必ず受診して受診結果報告書を提出するようお願いいたします。

提出期限は12月23日(金)までです。病院の予約状況等により、提出が遅れる場合はお知らせください。